

群馬県におけるガソリンスタンドの利用状況

一般財団法人 群馬経済研究所
主任研究員 樹下 芳久

～要 約～

1. 群馬県内には2011年3月末時点で912店のガソリンスタンドが出店している。しかし、ガソリン・軽油・灯油の輸入自由化やセルフ給油方式の解禁による価格競争の激化、低燃費車の増加や消費者の節約志向により、店舗数は減少している。
2. 現在、県内では「エネオス」をはじめ、「出光」「エッソ」「モービル」「ゼネラル」「コスモ」「シェル」といったブランドのガソリンスタンドのほか、大手流通企業などが立ち上げた独自ブランドの店もみられる。
3. 当研究所が県内の消費者を対象に実施したアンケート調査によると、ガソリンスタンドの利用者の45%が「セルフ式のガソリンスタンドのみ」を、38%が「フルサービスのガソリンスタンドのみ」を、18%が「両方」を利用していることが分かった。
4. 1か月当たりのガソリンスタンドの利用金額は、平均で1万700円であった。内訳をみると、「フルサービスのガソリンスタンドのみ」の利用者は1万1470円である一方、「セルフ式のガソリンスタンドのみ」は9880円と、両者で1590円の差があった。
5. ガソリンスタンドを選ぶ基準をみると、フルサービスのガソリンスタンドでは「店に行きやすい」のほか、「無料のサービスがある」「燃料の価格が安い」「給油が丁寧」といった回答が、セルフ式のガソリンスタンドでは「燃料の価格が安い」をはじめ、「店に行きやすい」が多かった。
6. 今後のガソリンスタンドの戦略として、車のメンテナンスを中心にガソリンスタンドの機能を充実する方向、コンビニエンスストアや飲食店の併設など機能を多様化する方向が考えられる。加えて、電気自動車向けサービスの提供も進むかもしれない。